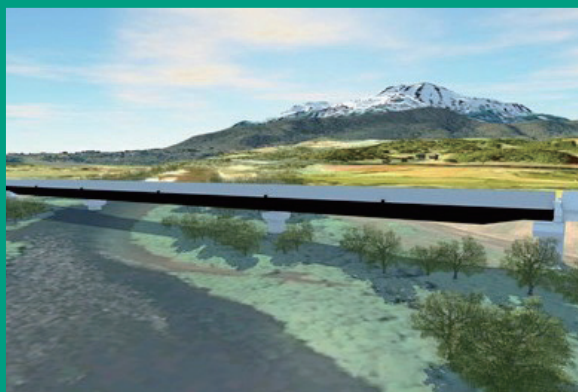
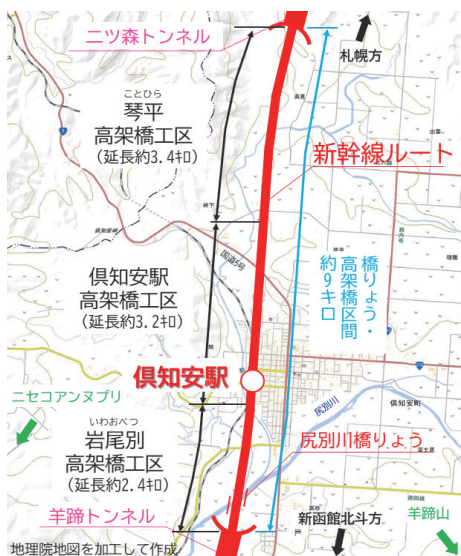




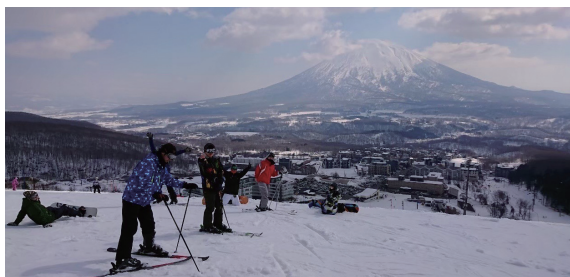
ニセコアンヌプリと尻別川橋りょう(イメージ図)



倶知安町で開催した説明会の様子



地理院地図を加工して作成
北海道新幹線ルート図(倶知安町内)



これまで札幌から倶知安まではJR函館本線でおよそ2時間かかっていましたが、新幹線開業後は約25分で結ばれます。パウダースノーを誇る日本有数のスキーリゾート地がますます近く、そして便利になります。

文／本間 吾里 砂

あしたの新幹線をつくる

Vol.22

鉄道・運輸機構(JRTT)は、北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



いよいよ高架橋等の工事が始まります。

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の建設工事は、これまでトンネル工事を中心でしたが、いよいよ二〇二三年度からは市街地で橋りょう・高架橋工事が本格的に始まります。

新幹線駅が設置される倶知安町では、新幹線が地上を走行する約九段の工事を三工区に分けて進めていく計画です。その中には、蝦夷(えぞ)富士と呼ばれる羊蹄山や日本

三百名山にも数えられるニセコアンヌプリを望む風光明媚な区間もあります。工事に先駆け、JRTTでは本年一月二十五日～二月十八日にかけて、地域住民の皆様を対象に町内六カ所での新幹線構造物の概要、工事用車両の通行ルート等についての説明会を実施。出席者からは「冬期に高架橋から道路に雪が落ちてくるのではない」「工事用の車両が通行することによる道路の損傷への対応はどうするのか」といった質問や意見が寄せら

れました。それらに対し、道路交差箇所の落雪対策を踏まえた構造とすることや、工事に起因する道路の補修等は道路管理者と協議してまいりますと回答しました。

JRTTでは、これからも地域住民の皆様の声に耳を傾けつつ、安全に十分配慮しながら工事を着実に進めていきます。

①